

市長と語ろう地域懇談会 記録

【日時】平成29年11月1日(水)午後6時30分～8時15分

【会場】瑞穂コミュニティセンター

【対象地域】瑞穂町、花園町、錦町、新光町、住吉町、東雲町

【出席者】45人

【記録者】渡邊

担当部	意見・要望などの要旨	回答の要旨
総務部	JR問題における10路線13線区については、北海道新聞で目にしているが、今後どうするのかということは市町村で結論を出すのではなく、北海道全体の問題であり将来的な北海道の交通体系を考えるべきである。過去にさかのぼれば国の政策で民営化が進められたものであり、国に対して支援を強く訴えてほしい。また、日高線では「日高線を守る会」をつくって大きな運動に取り組んでいるので、そういった取り組みも学んでみてはどうか。	【市長】国に対して要望する際には、地域住民が鉄道に対してどのように考えているのかということをお話していく必要がある。分割民営化は国策として当時の国鉄職員を減らすことを目的に進められたが、当初積み立てられた基金も低金利により徐々に減っている状況となっている。このような現状から関係する各市町村に対して意見が求められているが、対象となる路線ごとに議論を進めていくのではなく、北海道全体における交通体系の考え方を踏まえ、北海道が中心となって進めていかなければならないと考えている。また、国会議員に対しても要請しているが、さらにこの問題に対して認識してもらうためにも、世論全体で運動を展開していかなければならないと考えている。また、富良野市において農産物の輸送体系も重要なことから、農業団体や北海道とともに貨物輸送の関係も合わせて国に訴えていきたい。
総務部	富良野駅のホームは高齢者にとって上り下りするのが大変である。旭川駅はエレベーターがあるようだが、乗りやすい施設整備はできないものか。	【市長】JRを利用する人の利便性の意見として、JR北海道に話していきたい。
総務部	線路を守ることは非常に費用がかかり、現状の方法では鉄道を守ることは難しいと思う。JRの利用者も限られている状況であり、さらに道路体系も充実してきている。上下分離方式も検討する時期に来ているのかもしれない。	【副市長】意見として受け止める。

建設水道部	北1号川の川底の草がかなり伸びている。東小学校から4線までは掃除をしているようだが、大雨が来たときにポンプ車で排水をしているが、そういった河川の整備の計画はあるのか。	【建設水道部長】旭川建設管理部でベベルイ川の樋門から平間商店付近まで昨年浚渫を実施しており、引き続き東小学校まで実施していくよう要請していく。また、昨年の災害を踏まえ、排水ポンプの設置については、北1号川専用のもので今年度8インチのポンプを2台購入し、災害時に設置する体制をとっている。
保健福祉部	地域包括ケアシステムについて、6月の広報紙で紹介されていたが、現在は山部・東山地域だけが進められているということか。	【保健福祉部長】それぞれの地域の課題を見直しながら、地域住民による支え合いの体制づくりに向け、昨年度より社会福祉協議会に業務を委託しながら各地域で話し合いを進めており、山部・東山地域においては関係者による話し合いを始めている段階である。また、地域包括ケアシステムにおいては地域での見守りが重要であり、現在、民生委員を中心に支え合いマップを作成するなど、地域で見守る体制づくりを進めている。
保健福祉部	15年前ほどから各地域でふれあいサロンが行われているが、まだ15カ所くらいしか活動していないと聞いている。联合会や町内会が数多くある中、なかなか進んでいない状況である。ミニサロンというのもあるようだが、まったく知らない状況であり、何か良い情報の周知方法はないものか。 (参加者からの意見：联合会や町内会のみなさんから意見を聞きながら、ふまねっと運動などサロンを開催しており、地域住民には回覧板で周知している)	【保健福祉部長】ふれあいサロンの目的としては、家に引きこもりがちな高齢者の方に外へ出て交流してもらうための取り組みの一つで、連合町内会が主体となり開催している。この取り組みは15年前から行われ、現在15地区まで活動が広がってきているが、ふれあいサロンは地域のみなさんが主体となりボランティアで実施していることから、協力体制が進まない状況があるものの、社会福祉協議会と連携しながら、ふれあいサロンの実施に向け、話や準備を進めている。また、情報の周知については、各連合町内会単位での取り組みとなるので、それぞれの地域において回覧などを行っている。ミニサロンは町内会単位など、小さな規模のサロンを中心に開催し、介護予防などを目的に週1回程度集まり運動している。取り組みについては、現在5カ所から開催に向けて相談を受けている状況である。

<p>総務部</p>	<p>JR北海道は民営化された時点で赤字になることが分かっていたはずである。農産物輸送も含め、鉄路が無くなればバスやトラックも運賃を上げてくると思う。北海道の鉄道は動脈であり、国道・道道・市道は毛細血管のようなものである。国鉄時代は黒字だったはずで、民間になったから赤字というのは納得できない。鉄路の存続・廃止の判断は、懇談会での意見を含めて判断していただきたい。</p>	<p>【市長】ふれあいサロンにおける行政と社会福祉協議会の役割などを話し合いながら、きめ細かな情報周知ができるようにしていきたい。</p> <p>【副市長】意見として受け止める。</p>
<p>建設水道部</p>	<p>上下水道の工事で市道を横断する場合、自然転圧すると思うが、2、3年経つと工事箇所が下がってしまい、水が溜まったりする。これは全市的に見られる現象である。できればそういった箇所を2、3年後に修繕するようにしてほしい。</p>	<p>【建設水道部長】道路が整備された後に水道工事が行われることで、そのような現象が起きているが、上下水道課と都市施設課で連携しながら、補修に努めていきたい。</p>
<p>建設水道部</p>	<p>北1号川の柵が恐らく除雪の影響で傾いている。除雪の際は配慮願いたい。</p>	<p>【建設水道部長】除雪の際には気を付ける。また、老朽化などにより壊れている箇所については、旭川開発建設部に補修を要請する。</p>
<p>総務部</p>	<p>市庁舎は耐震があるのか不安である。最近は災害も増えている中で、司令塔の拠点施設となるので早期改築をお願いしたい。</p>	<p>【副市長】意見として受け止める。</p>
<p>総務部</p>	<p>鉄路の存続で、国や国会議員も関心がないように思える。市民に対して署名などの活動をしてはどうか。</p>	<p>【副市長】意見として受け止める。</p>
<p>総務部</p>	<p>市庁舎の場所は他の懇談会で駅東側が良いなど、いろいろと話が</p>	<p>【副市長】意見として受け止める。</p>

	あったと思うが、今の場所が良いと思う。	
--	---------------------	--